



## 東郷元帥ゆかりの銀杏の木の帰郷について

19世紀後半、英国西部ウェールズの造船所で日本海軍の軍艦「比叡」の進水式の際、日本政府から感謝の印として地元へ寄贈され、式典に参加した東郷平八郎が滞在していた英海軍官舎の庭に植えられた銀杏から挿し木で得た苗木が、12月24日、日本へ帰郷します。

地元ペンブローックドックでは、東郷平八郎が「比叡」の建造を監督し、「比叡」に乗船して帰国したことから、日本海海戦でロシアのバルチック艦隊を破った後から、「東洋のネルソン」東郷平八郎元帥ゆかりの銀杏として語り継がれてきました。

本帰郷プロジェクトはウェールズの郷土歴史家デービッド・ジェームズ氏を中心に地元住民により企画されたもので、帰郷後は、広島市植物公園で養生し、来春を目処に、旧軍港市である広島県呉市、京都府舞鶴市、長崎県佐世保市、神奈川県横須賀市のほか、鹿児島市や東郷神社などの東郷ゆかりの地に植樹される予定です。

呉市においては、令和2年4月末頃に東郷平八郎にゆかりの深い入船山記念館休憩所（旧東郷家住宅離れ）の隣接地で植樹セレモニーを開催する予定としております。

1 受入日時：令和元年12月24日（火） 13時～受取式

2 受入場所：広島市植物公園

3 今後のスケジュール：

令和元年12月24日：広島市植物公園での受入れ

令和2年4月中頃：広島市植物公園から呉市への引渡し

令和2年4月末頃：入船山記念館での植樹セレモニー

令和2年6月以降：呉市以外の受入団体への引渡し



東郷元帥ゆかりの銀杏送り出し式典（12月6日）の様子（在英国日本大使館提供）



式典時の東郷元帥ゆかりの銀杏  
（在英国日本大使館提供）



11月上旬の東郷元帥ゆかりの銀杏  
（郵船ロジティクス UK 社提供）